

## 01 「地域展開」とは？

- **国**は、休日の部活動を段階的に地域に移行し、地域の指導者を中心に活動するスタイルへ転換する方針を示しています。
- **佐賀市**は、今の部活動の仕組みのまま休日の地域移行をめざすのではなく、平日を含めた現在の部活動自体の見直しと、地域の受け皿づくりを並行して進めることで、中学生のみなさんがそれぞれの関心や志向に応じて、部活動・クラブ・スクールなど様々な選択肢の中から **自分で選んで参加できる「地域展開」**をめざしています。

学校部活動

民間クラブ

地域型クラブ

体験型イベント

## 02 なぜ地域展開が必要なのか？

少子化で、個別の部活動の存続が難しくなっています

部員数 R5.5調査	成章	城南	昭栄	城東	城西	城北	金泉	芙蓉	鍋島	諸富	大和	松梅	富士	北山	三瀬	川副	東与賀	思斉	
男子バレー		15	4	16	17	8			19		14	5							9
サッカー	26	23	22	9	6	16			20	11	28							12	

部員数の減少で、単独でチームが組めない部活動が増え、休部・廃部になるケースも出てきています。

学校の働き方改革が求められています

### ○文部科学省通知（R2.9月）

- ・部活動は、教師の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因である。
- ・必ずしも教師が担う必要のないものであり、特に休日部活動の教師の負担軽減を図るべき。

### ○佐賀市の中学校では、約 4 割の教員が長時間の時間外勤務を行っています。

**月45時間以上…39.3%**（中学校）

佐賀市立中学校教職員勤務状況（R5年度1学期）

授業の質の向上や、きめ細かな生徒指導のため、これまでの働き方を見直し、授業準備など教員本来の業務により多くの時間とエネルギーをかけることのできる環境の構築が求められています。

中学生の多様な志向に対応したいと考えています

中学生アンケート結果はこちら



中学生アンケート（R5.9）で生の声を聞かせていただきました。

- ▶ 中学生の約 3 割が部活動の「活動量が多い」と感じています。
- ▶ 活動量が多い部活動では、部員の活動満足度が下がる傾向にあります。
- ▶ 部活動と習い事で平均週19時間の活動量で、中学生はとて多忙です。
- ▶ 部活動が減ったら、「自由に過ごしたい」という意見が上位でしたが、「自主練習したい」という中学生も26%いました。
- ▶ 部活動の内容について、多くの中学生が「もっと自分たちで決めたい」と考えています。
- ▶ 地域のクラブに参加して取り組みたい活動（種目）では、学校部活動にないダンス、eスポーツ、釣りやバドミントンが人気でした。

地域展開がめざす方向性

### 学校部活動

- ・文化・スポーツ活動に親しむ場へ
- ・もっと主体的に活動できる場へ

### 民間クラブなど

- ・志向・関心に応じてチャレンジする場へ

## 03 どのように検討を進めているのか？

### 佐賀市部活動地域展開会議



会議だより

・学校、保護者、民間クラブ、地域団体、中体連などで改革の具体策を議論しています。

### 実証実験（モデル事業）



モデル事業報告

・合同部活動や地域指導者の関わり方などの課題を検証しています。

## 04 部活動改革の方向性は？

### 《方向性 1》 学校部活動としての活動量・活動内容の見直し

以下の4項目を中心に、現行の部活動ガイドラインの見直しを検討します。

- ◆ 活動量の見直し
- ◆ 生徒主体の自治的な活動への転換
- ◆ 顧問の関わり方を見直し
- ◆ 合同部活動の設置の推進



ガイドライン見直し（案）

※具体的な見直し・適用時期などは今後検討する予定です。

**これからも持続可能な部活動に！  
中学生が意見を言える・尊重される部活動に！**

活動の「質」、つまり文化・スポーツ活動への生徒の積極的な関与を促し、より主体的な活動をめざします。

活動の「量」、つまり活動時間を見直し、部活動以外も含めた多様な体験の機会の創出につなげます。

## 05 地域の受け皿づくりは？

### 《方向性 2》 多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化

中学生が求める文化・スポーツ活動は「競技志向」と「エンジョイ志向」に二極化しています。一方で、市内にはすでに多くのクラブが活動しています。中学生それぞれが自らの志向に応じて活動を選択し参加することができる環境を構築するため、部活動以外の活動フィールド（クラブ・スクール、体験イベント情報）を情報提供する準備を進めています。



市内スポーツクラブ一覧



総合型地域スポーツクラブ

### 《方向性 3》 地域型クラブの立ち上げ・運営に関する支援

「地域の中学生の活動を支えたい」「地域の文化・スポーツ活動の風土を育てたい」といった思いから、自分たちで地域に根差したクラブを立ち上げようという機運が生まれている地域があります。総合型地域スポーツクラブの立ち上げ支援など、地域の受け皿づくりをお手伝いする手法を検討していきます。

## 06 今後の進め方は？

令和6年度も、中学生の声や現場の意見を反映しながら、“学校部活動の改革”と“地域の受け皿づくり”に関する検討作業を進めていきます。

より良い改革に向けて、みなさまのご意見をお寄せください。



みんなであいさつ  
笑顔で団らん  
いっしょにごはん



佐賀市HP（部活動改革）

【発行・お問い合わせ】  
佐賀市教育委員会 教育総務課  
電話：0952-40-7352  
E-mail：kyouiku@city.saga.lg.jp



## 04 より主体的に、適切な時間（週8時間程度）で活動している事例

夏休みから取り組んでいたA中学校では、練習内容や練習時間、活動日を顧問の先生と相談しながら、主体的に決定して取り組んでいました。

子どもたちが「教わる」から「学ぶ」へ、先生は「教える」から「支援する」へ、部活動観の転換が図られていることが、子どもたちと先生方の姿から見て取れました。

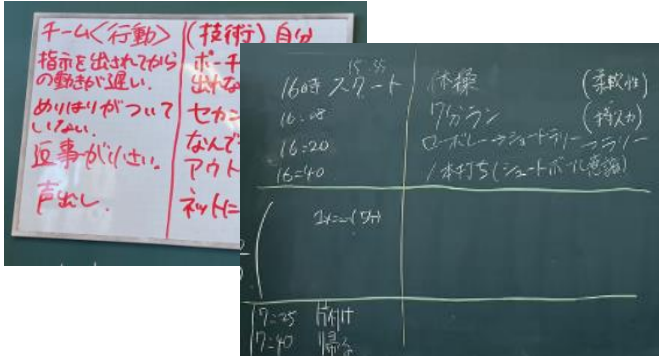
この他、「キャプテンを一人に決めずに、輪番制で全員が担うようにした」という事例もありました。

### （例）A中学校《夏季休業中の練習》

- ◆活動時間：2時間/日（準備・片付含む）、8時間程度/週
- ◆活動日：原則、平日のみの練習（土日は休み）

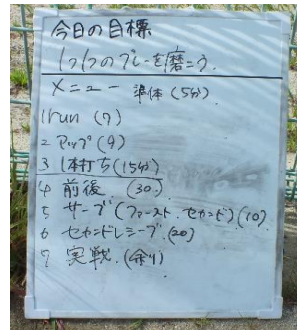
#### ①ソフトテニス部

- ◎ミーティングでチーム分析・自己分析
- ◎合意形成（練習メニューリスト、練習時間割）



#### ◎主体的な練習

- ・練習前の部員ミーティングで練習メニュー決定
- ・タイマーを使って部員がタイムマネジメント



#### ②バスケットボール部

- ◎顧問が提示した練習メニューの選択肢から、**部員が選択・自己決定**
- ◎週末の練習試合の申込受諾を、**顧問・部員間の対話**で決定

#### ③ソフトボール部

- ◎週8時間の割振を**部員が**決定
  - ・平日4日 …各1時間（計4時間）
  - ・土日どちらか1日 …4時間
- ◎メニューに合わせて、**準備を最小限に**
  - ・ベースを出す日、体操服で練習する日

部活動は全体で合わせる場。決められた時間をどのように使うかセルフマネジメントする力を高める！  
短くなった部活動以外の時間をどう使うか、主体的に自己決定する機会に！（自主練、勉強、習い事etc）

## 05 今後について

- ・佐賀市では、引き続き
  - ▶「子どもたちが主体的に自己決定し取り組む活動（ブカツ）」への転換【部活動のアップデート移行】
  - ▶「子どもたちの多様な価値観、考え方に応えることができる選択肢の創出」【受け皿の拡充】に取組み、健全で持続可能な「教育環境」「文化・スポーツ環境」を目指していきます。
- ・学校部活動以外のスポーツクラブや文化・スポーツイベント等の情報についても、市HPや市スーパーアプリで紹介しております。子どもたちがニーズに応じて文化・スポーツへの関わり方を選択できるお手伝いも進めていきます。

次号では、地域クラブ活動の取組を紹介します。



【発行・お問い合わせ】  
佐賀市教育委員会 教育総務課  
電話：0952-40-7352  
E-mail：kyoiku@city.saga.lg.jp